

(5) 駐車場、トイレの状況

● 駐車場

- ・駐車場の面積は約 3,700 m²で、大型車 6 台、小型車 40 台、身障者 2 台、バイク 5 台、自転車 10 台が駐車できます。
- ・さざなみ街道の利用者が多いこともあり、駐車場は日常的に混雑し、休日はその傾向が著しくなっています。
- ・駐車場内は一方通行となっており、駐車場所をさがすために場内を周回することもあります。
- ・駐車場へは、さざなみ街道、市道、道の駅東側の農道からアクセスが可能ですが、さざなみ街道から右折で進入はできず、駐車場からさざなみ街道への退出もできません。
- ・駐車場への進入路と退出路が複数箇所ありますが、農道から駐車場への進入と駐車場から農道への退出が重なると、車同士の交通事故の危険性もあります。
- ・また、歩行者が道の駅「草津」とロックベイガーデンを行き来するため、歩行者と車の交通事故の危険性もあります。



▲満車状態に近い駐車場内（平日の14時頃）



▲駐車場内（駐車待機中）



▲交差点①（歩行者横断中）



▲交差点②（駐車場を出た所）



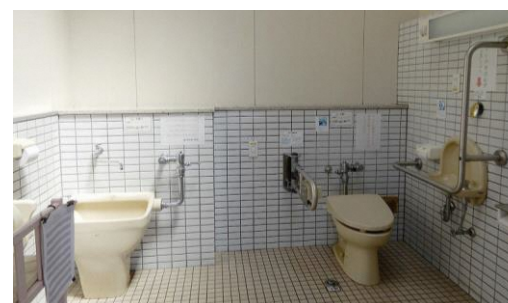
▲バイク駐車（木陰に駐車中）



▲自転車置場（サイクルスタンド）

● トイレ

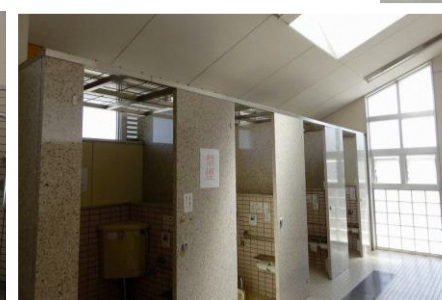
- ・トイレ全体の面積は約 65 m²です。
- ・男性用：
洋式 1（チャイルドシート付）、和式 1、大人用小便器 5、子供用小便器 1、手洗い 3、掃除用具入れがあります。
- ・女性用：
洋式 2（ベビーベット付 1、チャイルドシート付 1）、和式 5、手洗い 3、掃除道具入れがあります。
- ・多目的用：
洋式 1、オストメイト 1、ベビーベット 1、チャイルドシート 1、手洗い 2 があります。



▲多目的トイレ内



▲男性用トイレ内



▲女性用トイレ内

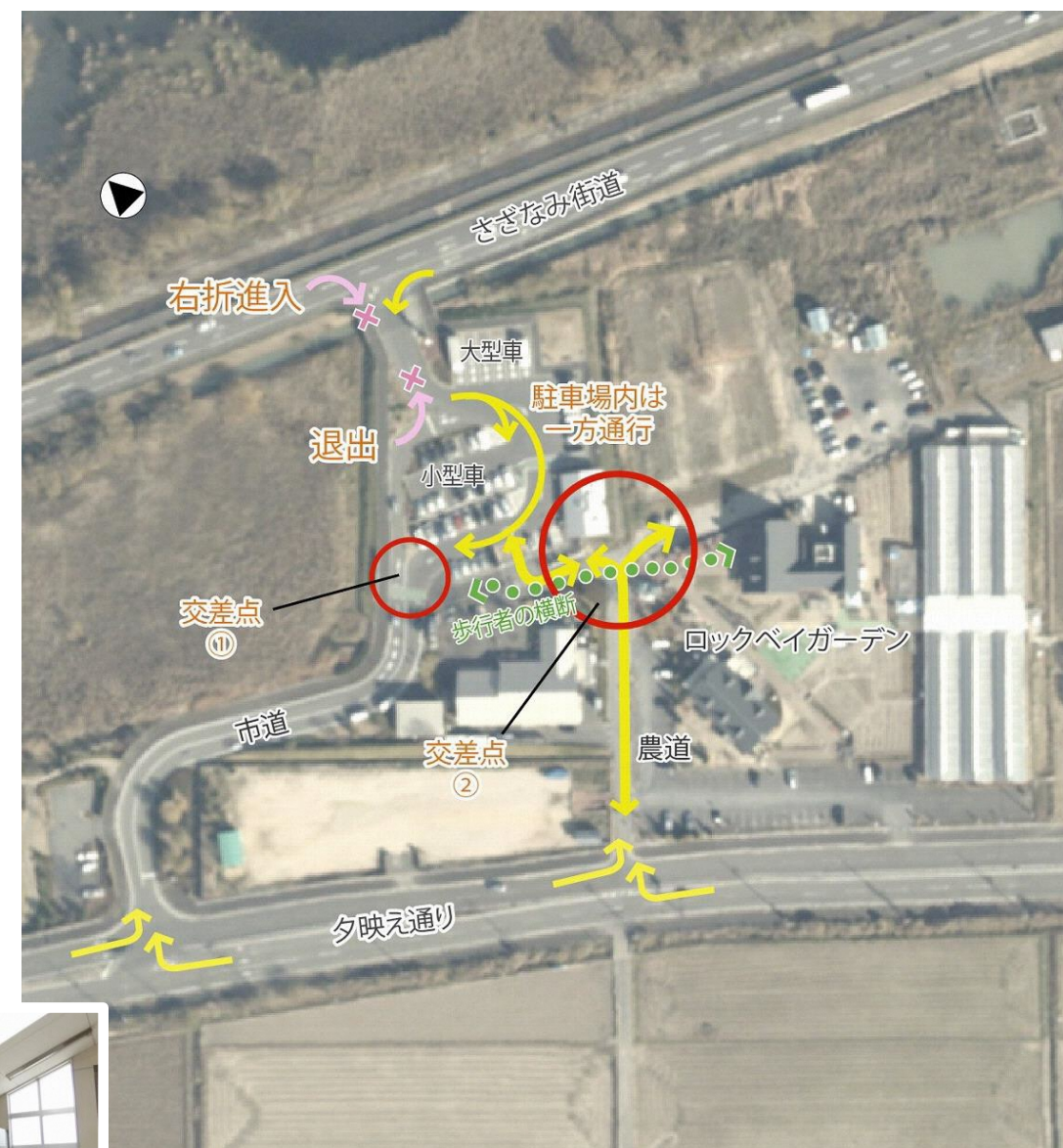


図- 道の駅「草津」の施設配置状況

調査概要

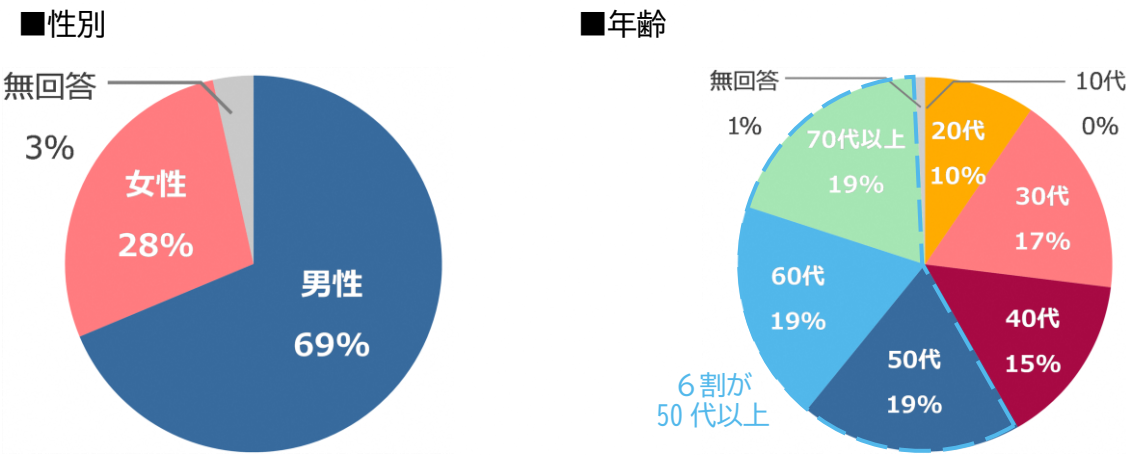
道の駅来訪者のご意見を本計画に反映するために、道の駅直売所から屋外へ出てきた来訪者を対象に、アンケート調査を実施しました。(回答数 115 名)

※令和元年度に立命館大学に委託して実施、回答数 115 名

調査結果

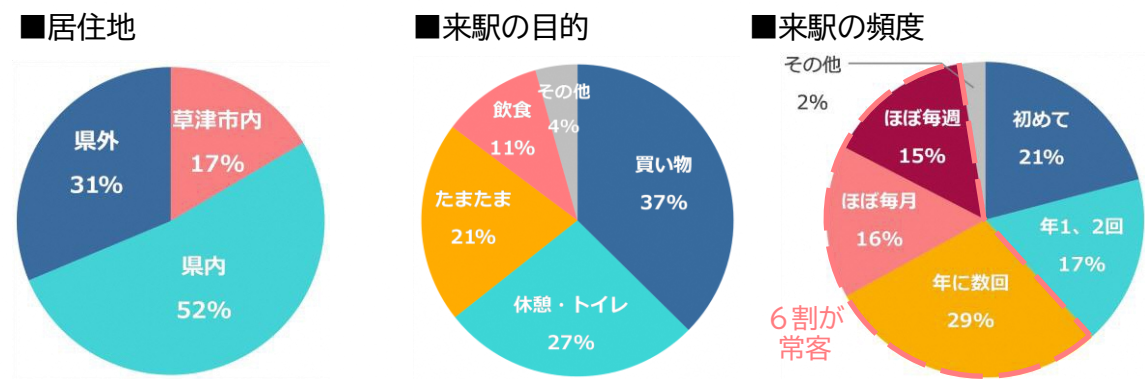
回答者の性別、年齢

- 回答者の性別は、約 7 割が男性ですが、夫婦で来ている人が多いという結果でした。
- 回答者の年齢は、約 6 割が 50 代以上であり、10 代からの回答はありませんでした。



回答者の居住地、来駅目的、来駅頻度

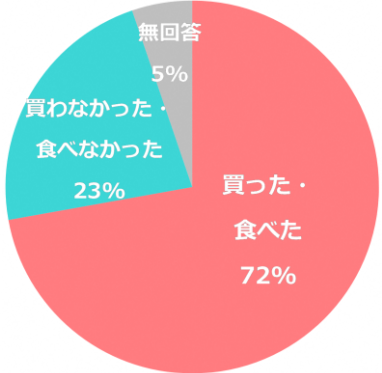
- 回答者の居住地は、約 7 割が草津市を含む滋賀県内ですが、草津市からと答えた人は 2 割に満たず、草津市民への PR が不足していると考えられます。
- 来駅の目的は、「買い物」と答えた人が約 4 割と最も多く、来駅者にとって道の駅「草津」の主要な機能は直売所であると考えられます。
- 来駅の頻度は、回答者の約 6 割が常客であると解されます。



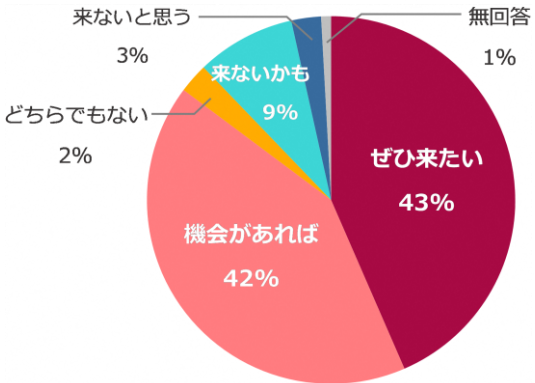
何かを買ったか食べたか、また来たいと思うか

- 「何かを買ったか・食べたか」という質問に対して、来駅者の約 7 割が「何かを買った・食べた」と答え、「野菜」を購入したと答えた人が多くいました。
- それに対して、「買わなかった・食べなかった」と答えた人が 2 割を超える結果となり、購買意欲を向上させるようなマーケティング戦略が求められます。
- 「また来たいと思うか」という質問に対して、「ぜひ来たい」と答えた人が約 4 割と最も多く、「機会があれば」と答えた人を含めると 8 割を超える人が再訪したいと考えていることが分かります。

何かを買ったか・食べたか



また来たいと思うか



自由意見について

- グリーンプラザからすまについては、「店舗自体が狭い」、「直売所における商品が少ない」などの意見がありました。
- 駐車場については、駐車場の狭さや、駐車可能台数の少なさを指摘する意見がありました。

道の駅「草津」の課題

施 設	課 題
グリーンプラザからすま	・グリーンプラザからすまは供用から17年が経過し、内装や設備等が老朽化してきたこと、店舗内が狭く商品陳列に限りがあること、通路幅が十分に確保できない等の解消に向けて、改修を行う必要があります。 ・直近3箇年の売上の状況をみると、特に野菜の売上が大きく減少し、物販や米の売上も同じように減少していることから、全国的な手数料の水準（15%～20%）にするなど、販売戦略やマーケット戦略を見直す必要があります。 ・営業利益率も年々減少していることから、経営の見直しを検討する必要があります。 ・入店客数が減少傾向にあることから、多世代のニーズに応えるように、地場産物を活用したメニューの開発や農産物の付加価値化等、魅力的な商品展開を行う必要があります。 ・ベジカフェとロックベイガーデン軽食コーナーでは、似たようなメニューで営業を行っているため、メニュー変更や店舗の統合等を検討する必要があります。
農産物販売施設	・グリーンプラザからすまのベジショップが手狭になっていることから、施設の有効活用を図り、集客や売上げの増加につなげる必要があります。
ふれあい広場	・ふれあい広場を利用する人が少ないため、屋外空間のメリットを活かした空間の活用を図る必要があります。
市道	・道の駅「草津」への進入と退出する際の主要な道路となるため、道の駅全体としての視認性確保や安全性を確保する必要があります。
駐車場	・さざなみ街道の交通量が多いこともあり、日常的な混雑を解消するために、駐車場の拡大を図る必要があります。 ・駐車場からロックベイガーデンに抜けるT字路の交差点は、歩行者の横断も多く、自動車と歩行者との交通錯綜を改善する必要があります。 ・駐車場へアクセスする周辺の道路を総合的に見直し、駐車場と一体的に安全性を高める必要があります。
トイレ	・バリアフリーの観点から、和式便器の数を減らし洋式便器の数を増やす必要があります。 ・駐車場の拡大に伴い、トイレの便器数の増加を検討する必要があります。